

令和4年3月23日

厚生労働大臣
後藤 茂之 殿

東京オリンピック競技大会・
東京パラリンピック競技大会担当
ワクチン接種推進担当大臣
堀内 詔子 殿

東京都知事
小池 百合子

新型コロナウイルスワクチンの追加接種に関する要望

都は、新型コロナウイルスワクチンの追加接種が円滑かつ迅速に進むよう、区市町村と一体となって、身近な地域での個別接種や、集団接種の接種体制の整備を図るとともに、大規模接種会場で都内在住・在勤・在学の方を対象とするほか、バスを活用して接種チームをきめ細かく施設や自宅に派遣するなど、様々な取組を展開している。また、事業者・大学等に対して、職域接種を行うよう再三にわたり働きかけている。

については、希望する方への追加接種をさらに迅速に実施できるよう、下記の事項に関し、特段の措置を取られるよう要望する。

記

- 1 職域における追加接種の加速化を図るため、早期の実施を希望する企業に対しては、接種間隔6か月での接種計画の策定を認め、ワクチンを遅滞なく供給するなど、職域における追加接種の更なる前倒しを進めること。
- 2 職域における追加接種の加速化のため、希望する企業が職域接種を実施できるよう、人数要件の撤廃など参加条件の緩和を図ること。
- 3 12歳以上17歳以下の方への追加接種に関して、地方自治体における体制整備や各種準備が円滑に行われるよう、開始時期等の必要な情報提供を速やかに行うなど、地方自治体との連携をきめ細かく行うこと。
- 4 今後、4回目の追加接種を実施する場合には、追加接種対象者に対しての接種が円滑に実施できるよう、接種券様式を接種券一体型予診票の様式ではなく、シール型の様式に統一すること。
また、地方自治体と十分に連携の上、接種券のデジタル化を進めること。